

授業科目名・形態	精神保健の課題と支援Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

精神保健では様々なことを学習する。精神保健の基礎知識、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健における個別課題への取り組み、地域精神保健と地域保健、諸外国における精神保健、関連法規及び施設が含まれる。受講生は、1年かけて精神保健学の幅広い取り組みを知り、その奥の深さを学んでほしい。

【到達目標】

- 1) 精神保健の重要性と健康や精神保健の定義等についての基本的な考え方を学ぶ。
- 2) 現代社会におけるライフサイクルの意味と各ライフステージに関連した精神の健康の問題、現代社会におけるストレスをめぐる問題、生活習慣の変化が身体と精神に及ぼす影響などを理解する。
- 3) 上記の問題に取り組む精神保健福祉士の役割を学ぶ。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 精神保健に関する対策と精神保健福祉士に役割①
- 第 2 回 精神保健に関する対策と精神保健福祉士に役割②
- 第 3 回 精神保健に関する対策と精神保健福祉士に役割③
- 第 4 回 精神保健に関する対策と精神保健福祉士に役割④
- 第 5 回 精神保健に関する対策と精神保健福祉士に役割⑤
- 第 6 回 精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ①
- 第 7 回 精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ②
- 第 8 回 精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ③
- 第 9 回 精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ④
- 第 10 回 精神保健の視点からみた現代社会の課題とアプローチ⑤
- 第 11 回 地域精神保健に関する諸活動①
- 第 12 回 地域精神保健に関する諸活動②
- 第 13 回 地域精神保健に関する諸活動③
- 第 14 回 諸外国における精神保健①
- 第 15 回 諸外国における精神保健②

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う。

【授業準備】 新聞等で福祉に関する記事を読む習慣を身につけること

【主な関連する科目】 「精神医学」「心理学」

【教科書等】 「精神保健の課題と支援」中央法規出版

【参考文献】 随時講義の中で紹介する。

【成績評価方法】 筆記試験又はレポート 80%、出席数 20%により総合的に判断する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとしての経験を活かして精神保健福祉士の役割を学ぶ。

【学生へのメッセージ】

本講義は社会福祉専門職の視座や役割、行動規範を学習し、今後の講義や演習の基礎となる講義である社会福祉士受験資格を目指す学生は情熱をもって知識を習得してほしい。